

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかる拡大損害を示します。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を(梱包箱と共に)連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

熱器具(ガスコンロ等)を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

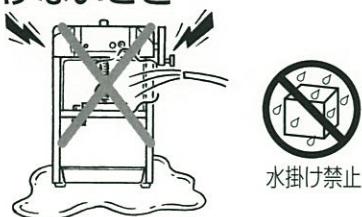
この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

警告

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



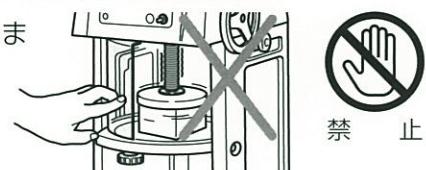
濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



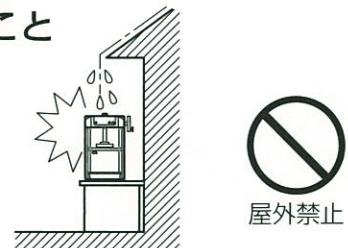
運転中にスライドカバー(氷削シールド)を開けたり、切削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



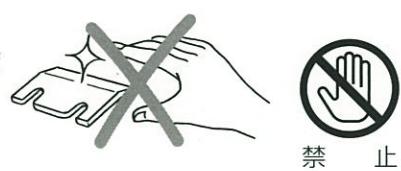
屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電・感電の原因になります。



氷を出し入れするときは、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



漏電遮断器を使用している場合、OFF(切)に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON(入)にすると、感電や火災の原因になります。



異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと(刃物交換・お手入れ作業は除く)

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



切削室内を掃除する時は、必ず刃物を円盤上面より下げ、拭く方向は必ず反時計方向に拭くこと

ケガの原因になります。



！ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

水滴が落ちてもよいところに据え付けること

結露のしずく、氷が溶けた水などで周囲の機器を濡らすことがあります。

直射日光の当るところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出して、ケガの原因になります。

切削室は使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。

運転中は、回転部(主軸・上下ハンドル)に手を触れないこと

ケガの原因になります。

氷のセットは確実にすること

不十分ですと、氷が飛び出す恐れがあり危険です。

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。

氷押えのクギに手を触れないこと

ケガの原因になります。

強弱調節ネジの調節は、上下ハンドルから手を放しても氷押えが下がらないよう調節すること

ケガの原因になります。

廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険な物として処理してください。

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること

テープ
取扱説明書
テープ止め

設置と運転前の確認

■設置

⚠ 警告

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）



アース工事

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。



禁 止

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるよう据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

直射日光の当るところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



禁 止

水滴が落ちてもよいところに据え付けること

結露のしづく、氷が溶けた水などで周囲の機器を濡らすことがあります。



設置場所

設置と運転前の確認

ご使用方法

⚠ 警告

運転中にスライドカバー(氷削シールド)を開けたり、切削室の中に手を入れないこと
ケガの原因になります。



禁 止

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと
感電の原因になります。



濡手禁止

切削室の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと
ケガの原因になります。



プラグを抜く

⚠ 注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁 止

氷のセットは確実にすること

不十分ですと氷が飛び出す恐れがあり、危険です。



確 認

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁 止

氷押えのクギに手を触れないこと

ケガの原因になります。



禁 止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にホコリが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

運転中は、回転部(主軸・上下ハンドル)に手を触れないこと

ケガの原因になります。



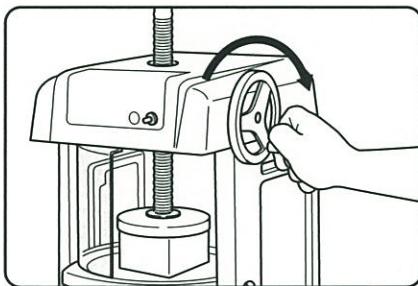
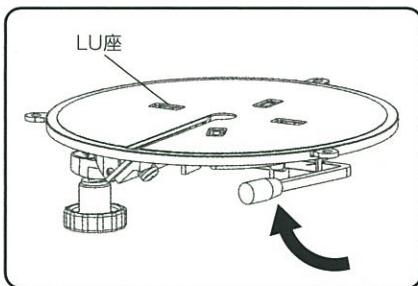
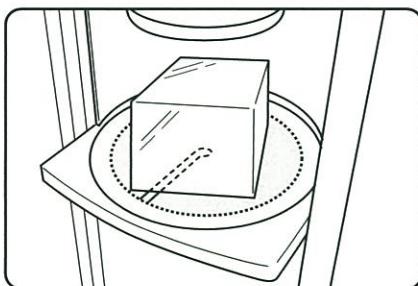
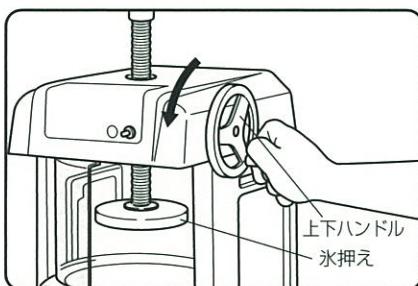
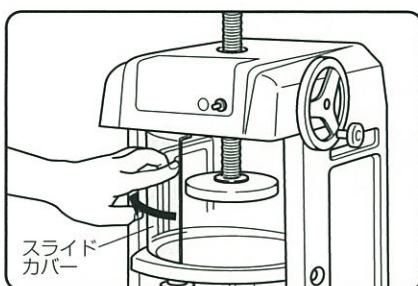
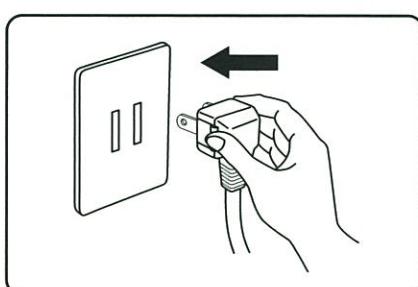
禁 止

お願い

- (1) 霜が付くほど冷えた氷は硬すぎて切削には不適当です。透明になるまで待って使用してください。硬すぎる氷を使用して削られた氷は粉のような「かき氷」になり、綿のような本来の「かき氷」にはなりません。また、刃物の刃先が損傷したりして、削れなくなることもあります。必ず透明になるまで「ゆるめ」てからお使いください。
- (2) 製品の上に物を載せないでください。

ご使用方法

■運転の手順



1

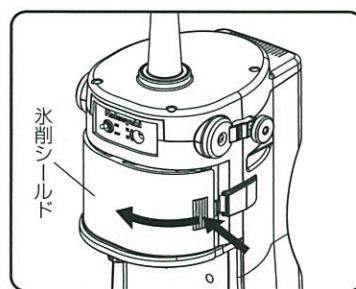
電源プラグを差し込む。

- 電源スイッチがOFF(切)になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2

氷をセットする。

- スライドカバーを左に回して開けます。
(HF-300P)
- 氷削シールドを開けます。
(HB320A)



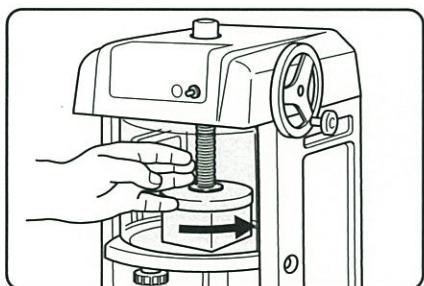
- ※少し本体中心側に押し手前に引くようにして開けます。
- 上下ハンドルを反時計方向に回して氷押えを上げます。
- 上下ハンドルから手をはなし氷押えが落ちないことを確認します。

- ※落ちるとケガをすることがあります。
- 円盤の中心に氷をのせます。刃物よりはみでないようにしてください。(氷が削れなかつたり、斜めに削れて氷が飛び出したりすることがあります。)
- 氷から手をはなします。

- LUレバーを手前に引き上げ、LU座(4本の樹脂の爪)を下げるから氷をのせてください。(HB320A)

- 上下ハンドルを時計方向にまわし、氷に氷押えのクギをくい込ませて確実に固定します。

※不十分ですと氷が飛び出ることがあります。



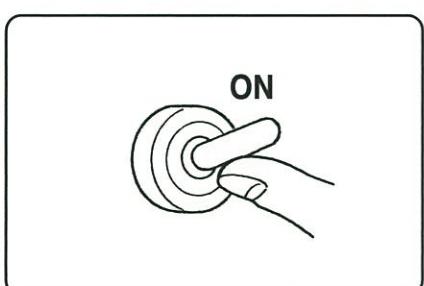
●スライドカバー（氷削シールド）を右へ一杯にまわして閉じます。ストッパーに当るまで回してください。不十分ですと、電源スイッチをON（入）にしても安全スイッチが働き、製品が動きません。



3

カップを受ける。

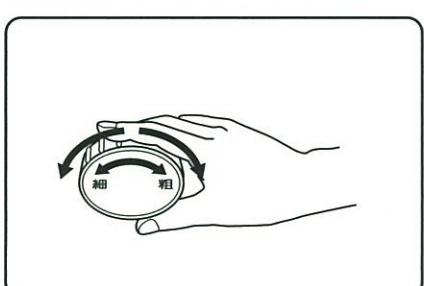
●円盤の下にカップなどの容器で受けてください。



4

電源スイッチをON（入）にする。

●運転を開始します。

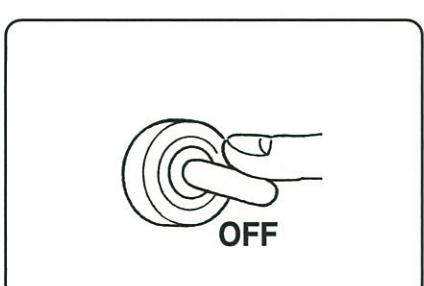


5

氷削粗さの調節をする。

●刃物調節ツマミをまわして、好みの粗さにします。
標準粗さ約1mm（円盤上面から刃先までの高さ）

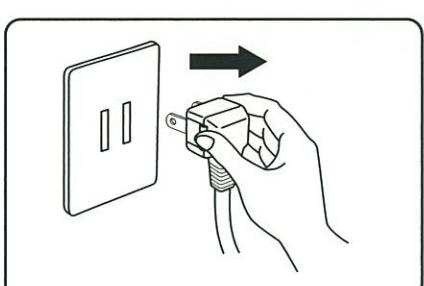
●右にまわすと粗くなり、左にまわすと細かくなります。
●刃物調節ツマミ1回転で約1mm動きます。
回転可能範囲2~3回転



6

電源スイッチを切る。（運転停止）

●電源スイッチをOFF（切）にしてください。



7

使用後は電源プラグを抜く。

●1日の営業が終わったら電源プラグを抜いてください。

■円盤上の氷の取り出し方法について

! 警告

氷を出し入れするときは、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



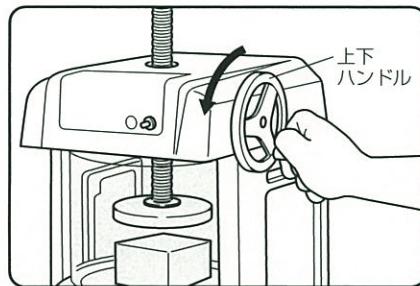
禁 止

! 注意

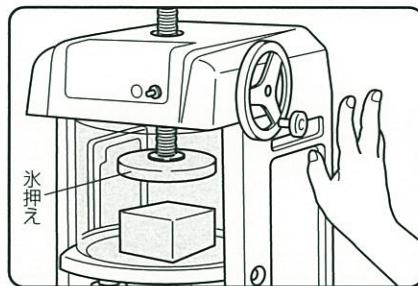
氷押えのクギに手を触れないこと
ケガの原因になります。



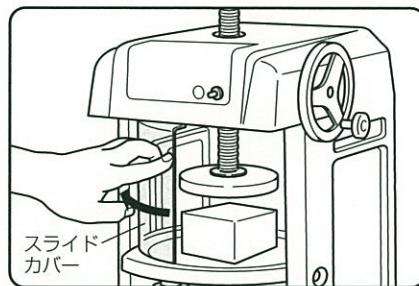
禁 止



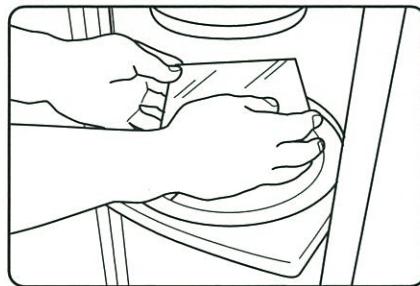
1 電源スイッチをOFF(切)にし、上下ハンドルを反時計方向に回して氷押えを上げます。



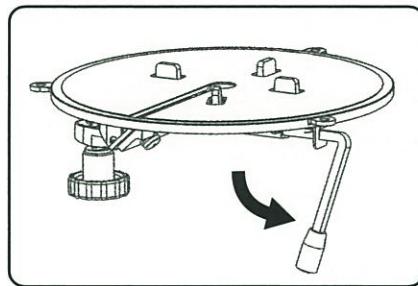
2 上下ハンドルから手を離し、氷押えが落ちないことを確認します。



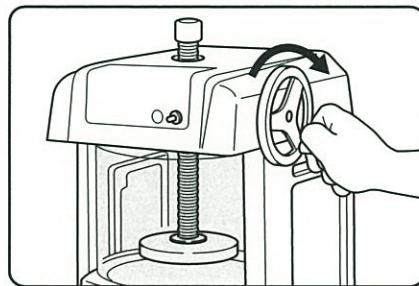
3 スライドカバー（氷削シールド）を左に回して開けます。



4 円盤から氷を取り出します。



LUレバーを奥に押し下げて氷を持ち上げ、円盤から氷を取り出します。 (HB320A)

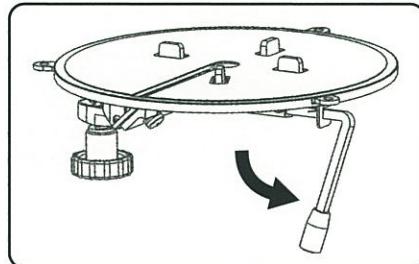


5 氷押えは、上下ハンドルを時計方向に回して下げておいてください。

■氷の一時的な保持方法 (HB320A)

HB320Aは一時に氷を氷削部に保持する事ができます。

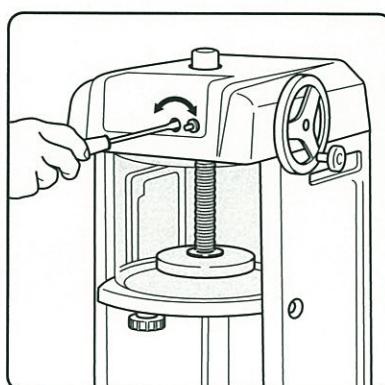
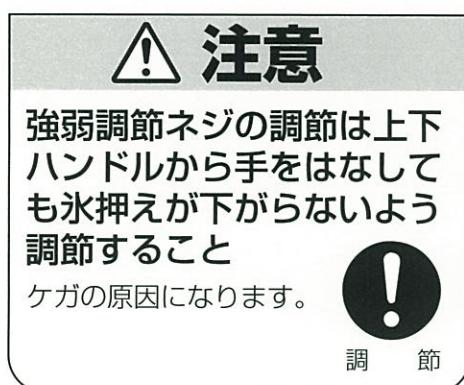
- 上下ハンドルを反時計方向に回して氷押えを上げます。（上図①）
- LUレバーを奥側に押し下げLU座を上げ、氷を持ち上げます。



■安全スイッチについて

- 氷削運転中にスライドカバーを開けると、危険防止の為、安全スイッチが働き製品が停止します。
- 安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

■強弱調節ネジについて

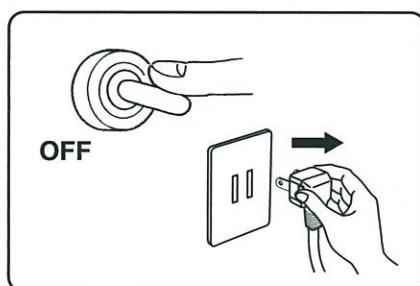


氷を押える力の調節に使います。

- 調節には Θ ドライバーを使用します。
- 右へまわすと強くなり、左へまわすと弱くなります。
- 上下ハンドルをまわして力を確認します。
上下ハンドルから手をはなしても下へ下がらず、上げる時に重くない程度が最適です。

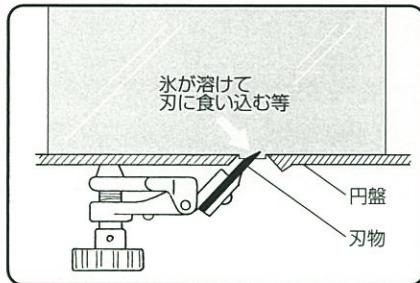
■プロテクターについて

- モーターに負荷がかかり過ぎると自動的に製品を止める装置です。
- 一定時間以上連続使用するとモーターが過熱しプロテクターが作動して、製品が停止します。また、負荷がかかり過ぎた時にも同様に製品が停止します。
- いづれの製品もプロテクターは、モーターに内蔵しております。
- 作動したときは、次の処置をしてください。



1

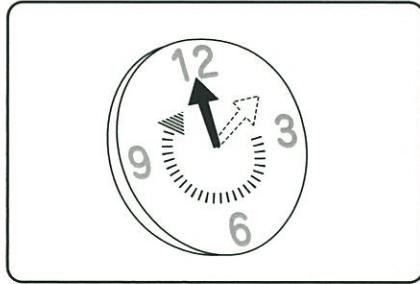
電源スイッチをOFF(切)にして、コンセントから電源プラグを抜く。



2

過負荷の原因を取り除く。

(例)刃物が氷に食い込んでいる。この場合は、氷のセットをもう一度やり直してください。



3

1時間放置してください。

- 自動的に復帰いたします。

※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

故障の見分け方と処置方法

⚠ 警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
(刃物交換・お手入れ作業は除く)

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

お願い

- 故障かな?と思ったら、次のことをお調べください。
それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。

現象	お調べいただきたいところ	処置方法
製品が動かない	●電源プラグが抜け落ちていませんか?	●コンセントに差し込んでください。
	●プロテクターが作動していませんか?	●「プロテクターについて」の項参照。(P.12参照)
	●ベルトが切れていませんか?	●販売会社に連絡してください。
	●スライドカバー(氷削シールド)が開いていませんか?	●スライドカバーを確実に閉めてください。
	●モーターに異常な負荷がかかっていませんか?	●電源スイッチを「切」にし、氷等の負荷を取り除き、しばらく放置してから再度起動してください。
製品は動くが氷が削れない	●刃物が切れなくなっていますか?	●刃物を研ぐか交換してください。(P.13参照)
	●刃先が円盤上面より出ていますか?	●刃物調節ツマミを右に回し刃物を出してください。
	●強弱調節ネジがゆるくありませんか?	●強弱調節ネジを右に回して強くしてください。
切削中に氷抑えから氷がはずれる	●強弱調節ネジがゆるくありませんか?	●強弱調節ネジを右に回して強くしてください。
	●氷抑えのクギが氷に食い込んでいますか?	●氷抑えのクギを氷に確実に食い込ませてください。

譲渡・廃棄

■譲渡

⚠ 注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること



テープ止め

■廃棄

⚠ 注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること



専門業者

仕様

仕様

型式	定格消費電力	氷削能力(kg/min)	氷削有効径(mm)	外形寸法(mm) 幅×奥行×高さ	質量(kg)	電源	付属品
HF-300P	95/82.5W	1.8/2.2	200	350×402×591	27	単相100V 50/60Hz	●予備刃物…1 ●バット…1 ●上下ハンドル…1 ●取付けネジ(M6×35) ………1(HF-300P) ●取付けネジ(M6×16ロック付) ………1(HB320A) ●排水ホース…1 (HF-300Pは除く) ●氷旗…1 ●取扱説明書…1
HB320A	200/185W	1.8/2.2	200	355×402×756 (ツノを含む) (561(頭カバー上面))	20		

※氷削能力は標準粗さ（刃の出1mm）にて測定しております。